

ワンストップ窓口設置による地域包括支援センターの機能拡充（千葉県鴨川市）

- 厚生労働省の「地域ケア多職種協働推進等事業」を活用し、ワンストップ相談窓口（福祉総合相談センター）の充実を図った。
- 子どもから高齢者まで横断的な相談に対応した総合窓口として、地域包括支援センターの機能を拡充した。

ワンストップ窓口（福祉総合相談センター）

保健師

社会福祉士

主任介護支援専門員

住民目線の窓口相談

- 子ども・高齢者・障害者等の枠にとらわれない総合相談
- 24時間体制の電話相談
- 点から面の支援体制の構築

重層化・多様化した事例に対応

- 関係機関との意見交換・役割分担
- 事例を通じた多職種との関係づくり
- 医療・保健・福祉・司法等専門職の顔の見える関係づくり

相談支援と地域づくりを一元化

- 社会福祉協議会との協働による地域づくり
- 各地区活動等での周知
- シンポジウムの開催等による地域ボランティアとの連携

子どもから高齢者までだれもが安心して生活できる地域づくりの推進

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市区町村名	鴨川市
②人口（※1）	35,853人 (平成24年4月1日現在)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	11,432人(65歳以上) 6,340人(75歳以上) (平成24年4月1日現在)
④取組の概要	地域包括支援センターを機能拡充して、子ども・障害者・高齢者の枠にとられず、生活の困りごとをワンストップで相談受付を行う体制づくりを行なった。
⑤取組の特徴	ワンストップ相談支援を行うにあたり、地域からの相談をつなぎやすくするため、社会福祉協議会等と協働しながら地域づくりの支援も行なった。 地域ボランティア等と相談センター職員等の関係づくりや地域の関係者が参加してのシンポジウムを開催して、支援が必要な対象者をつないでもらう体制づくりを行なった。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成18年度より市直営にて地域包括支援センターを設置し、地域の高齢者の支援を行ってきた。その中で、高齢者だけでなく、子ども・障害・高齢者・DV(ドメスティックバイオレンス)など、様々な横断的な相談に対応できる体制の必要性が求められていることがわかった。 また、重層化した課題を解決するために、市保健福祉部署や民生委員や警察等と連携するにあたり、課題分析と役割分担を行い課題解決に向けて取り組んでいる。 また、地域からの相談をつなぎやすくするため社会福祉協議会や地区社会福祉協議会などと協働して地域支援を行なっている。
⑧主な利用者と人数	平成24年度 相談受付件数 642件
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	鴨川市
⑩市区町村の関与(支援等)(※2)	
⑪国・都道府県の関与(支援等)(※3)	地域ケア多職種協働推進等事業補助金 (3,950,000円)
⑫取組の課題	課題解決に向け、行政だけの対応では困難となってきたため、医療や司法など各専門職との連携が必要不可欠となっている。
⑬今後の取組予定	各専門職との連携がスムーズに行える体制づくり 地域福祉を推進して相談がつながりやすい体制づくり
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	鴨川市役所 健康推進課 福祉総合相談センター Tel.04-7093-1200